平成２１年度

学習状況調査

調 査 結 果 報 告 書

平成２２年２月

秋田県教育委員会

ま　え　が　き

県教育委員会では、平成２１年１２月、小学校４年生から中学校２年生を対象に学習状況調査を実施しました。

この調査は、学習指導要領の内容等の定着度を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題をとらえ、本県児童生徒の学力向上施策の推進に資するとともに、各小・中学校において、自校の実態や課題をより的確にとらえ、目標に準拠した評価の研究や授業改善に生かすなど、指導方法の工夫改善のための資料を提供することをねらいとして、平成１４年度より毎年実施しているものです。

小学校については、第４学年が国語、算数、理科の３教科及び意欲等に関する質問紙調査、第５学年と第６学年が国語、社会、算数、理科の４教科及び意欲等に関する質問紙調査、中学校については、第１学年、第２学年とも国語、社会、数学、理科、英語の５教科及び意欲等に関する質問紙調査を実施しております。

このたび、今年度の結果がまとまりましたので、報告書をお届けします。本報告書においては、各学校が自校の状況を客観的に把握できるようにするための度数分布グラフ等に加え、各教科の分析に基づいた授業改善への提言をまとめております。

さて、平成１９年度から、全国学力・学習状況調査が実施されておりますが、本県児童生徒の学力は小・中学校ともに、良好な状況であることが明らかになりました。この結果は、学校教育を中心に、家庭や地域の教育力及び県内大学からの協力などの成果が総合的に現れたものととらえていますが、学習状況調査の結果活用もその一翼を担っていると考えております。平成２２年度の全国学力・学習状況調査は抽出調査として行われますが、県内すべての市町村が希望利用制を活用することとなりました。４月の全国学力・学習状況調査と１２月の本調査を中心とした検証改善サイクルを構築し、各学校における授業改善及び本県児童生徒の学力向上がこれまで以上に図られることを期待しております。

各小・中学校においては、自校の集計結果を分析し、改善策等を検討し、指導方法等の工夫改善にすでに生かしていただいているところですが、積極的に本報告書及び学習状況調査問題を活用し、児童生徒一人一人の学力向上に大いに役立てていただくことを期待します。

終わりに、本調査研究に御協力いただいた県内すべての市町村教育委員会、各小・中学校に深く感謝の意を表します。

平成２２年２月

秋田県教育委員会